

環境経営レポート



エコアクション21
認証番号0011652

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



共存しながら
進化し続ける力

三島沢地工業団地協同組合

URL <http://www.siz-sba.or.jp/m-sawazi/>

発行版 第9号

発行日 令和5年5月10日

対象期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
(2022.4.1. ~ 2023.3.31)

目 次

No 項目

- 1 組織の概要 事業者名、所在地、事業の概要、事業規模
- 2 対象範囲 認証・登録の範囲、レポートの対象期間及び発行日
- 3 環境(経営)方針 令和1年5月1日
- 4 環境経営目標
- 5 環境経営計画
- 6 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容
- 6.1 実施体制 体制、(役割・権限)
- 6.2 教育・訓練 (略)
- 講習・連絡会 特別教育「低圧電気取扱」
- 6.3 環境コミュニケーション
- 内部 団地だより 51号 52号 53号
- 連絡会 (理事会・環境・共同事業・総務)
- 外部 地元自治会・三島市関係課・東電EP (略)
- 6.4 実施及び運用 (略)
- 6.5 緊急事態への準備及び対応 (地震時復電火災対応手順)
- 6.6 文書類 (略)
- 7 目標・計画の結果とその評価、次年度の目標・計画
- 7.1 環境経営目標の結果と評価、次年度の目標
- 7.2 環境経営計画の結果と評価、次年度の計画
- 8 環境関連法規等の遵守状況・評価、違反・訴訟等の有無
- 9 代表者による全体の評価と見直・指示
- 団地組合員企業一覧及び案内図 付図

1. 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

事業者名 三島沢地工業団地協同組合

代表者名 事務局長 川村 輝男

2. 所在地

名称	所在地	延床面積/地積
事務所	三島市平成台2番地	240m ² (床)
受電設備	" 53番地	100m ² (床)
汚水処理施設	" 33番地	632m ² (地)
浄水給水施設	" 1番地	524m ² (地)
工水給水施設	" 1番地	548m ² (地)



組合事務所



共同受電設備

3 事業の概要

組合活動・共同設備の維持

4. 事業規模

令和5年3月31日現在

項目	内 容
売上高	39,600万円
従業員数	3名
用地	組合 8,592m ² 組合員 105,849m ²

2. 事業年度

4月1日～翌年3月31日

2. 対象範囲

1. 認証・登録対象範囲

活動 全事業活動

対象組織 組合事務所(全組織)



認証・登録証

認証・登録番号 0011652
三島沢地工業団地協同組合
静岡県三島市平成台2番地
事業活動 組合活動・共同施設の維持
対象事業所 組合事務所
認証・登録日 2017年2月14日
更新・登録日 2023年2月14日
有効期限 2025年2月13日

2. レポートの対象期間及び発行日

表紙に記載

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2017年版」(環境省)の
要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構
理事長 森本英香

3. 環境方針



三島沢地工業団地協同組合 事務局
事務局長 川村 輝男

[環境理念]

当団地がある三島市は、地域の3分の2が山岳丘陵地帯であり、富士・箱根山麓の伏流水を源とした豊富な地下水に恵まれています。また古くから文化が栄え、「水と緑と人が輝く夢あるまち三島-環境先進都市を目指して」を将来の都市像として掲げています。

当工業団地は、地元の食料品製造業、金属製品・機械器具製造業を主体とし、情報通信、建設、印刷、首都圏から研究開発型企業も参画して、高付加価値創出の企業群で構成されています。今後は、環境先進都市を目指す三島市の誇れる、景観・緑化を大切にし、気候変動などによる災害に強く対応力のある「環境にやさしい工業団地」を目指してゆきます。

[基本方針]

環境理念に基づき基本方針を定め、継続的でステップアップする環境経営を展開します。

1. 事務局活動の環境への負荷の削減に努めます。
 - 1) 電気、化石燃料等の使用量削減に努めます。
 - 2) 廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 水使用量の削減に努めます。
2. 適応される環境関連法規制等を遵守します。
3. 組合員の、環境に配慮した活動を支援します。
 - 1) 省エネルギー活動等を支援し、電気使用量の削減に努めます。
 - 2) 廃棄物の分別・3Rを支援し、産業・一般廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 水資源効果的な使用・漏水の有無を調査報告して、使用量の削減に努めます。
 - 4) 適用される環境関連法規等の周知・遵守の支援を行います。
 - 5) 組合員・団地の自然美化活動を支援し、共用箇所の維持に努めます。
 - 6) 災害に強い仕組みつくりを支援します。
4. 環境コミュニケーションの実施を図ります。
 - 1) 環境経営レポートを公開し、社会とのより良いコミュニケーションを図ります。
 - 2) 全従業員に環境方針を周知し、全社員参画による取組を目指します。
5. 教育訓練の実施を図ります。
 - 1) 各種団体と連携を図り、団地内外での教育訓練の実施を図ります。

初版
改訂

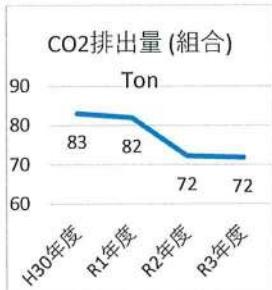
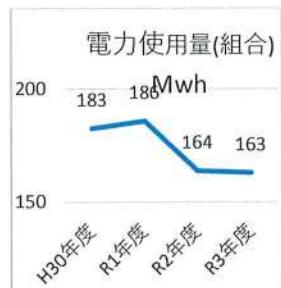
平成28年9月1日
令和1年5月1日

4. 環境経営目標



4.1 「団地全体及び組合管理分」の環境実績トレンド（平成30年4月～令和4年3月）

項目	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
電力使用量(団地)	Mwh	10,672	10,218	9,706	10,168
電力使用量(組合)	Mwh	183	186	164	163
二酸化炭素排出量(団地)	t-CO2	4,856	4,506	4,280	4,484
二酸化炭素排出量(組合)	t-CO2	83	82	72	72
一般廃棄物(団地)	トン	21.6	21.1	19.8	19.8
水使用量(団地)	Km³	104	106	98	98



4.2 単年度・中期の環境経営目標

基準年は、「前年度」とし、毎年1%削減する。

運用期間 単年度「令和4年4月～令和5年3月」及び中期「3年間」の環境経営目標

策定 4.04.25

項目	単位	基準年度	削減率/目標値等				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
二酸化炭素排出量	kg-CO2	73,807	-1%	73,069	-1%	72,338	-1%
内訳	電力	kWh	163,082	-1%	161,451	-1%	159,837
		kg-CO2	71,919	-1%	71,200	-1%	70,488
	ガソリン	L	599				
		kg-CO2	1,390				
	灯油	L	200				
		kg-CO2	498				
廃棄物排出量	産業	kg	0	--	200	--	0
	一般	kg	19,810	-1%	19,612	-1%	19,416
水使用量		m³	94,164	-1%	93,222	-1%	92,290
省エネ提案・活動		件	2		2		2
環境関係法の調査・支援		件	1		1		1
自然環境に配慮した活動		件	1		1		1

<備考>

環境目標は、前年度を基準とした比で示す。

- 電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー2020年(令和2年度)の「0.441kg-CO₂/kWh」(調整後)を使用。
- 二酸化炭素排出量削減で、ガソリン・灯油の割合が、5%以下なので、目標には設定しない。集計には含める。
- 水使用量・廃棄物排出量は組合員の活動結果。

・基準年の産業廃棄物排出は、組合員の廃蛍光灯。各社では少量のため、組合で集めて処理。費用は案分する。

環境経営レポート第9号

5. 環境経営計画



策定 4.04.25

取組期間：令和4年4月～令和5年3月

組合活動/提言・支援(サービスによる環境貢献)

環境活動項目			担当	目的・コメント等
二酸化炭素の削減	省エネ	省エネ診断と助言 組合員への資源(電気・ガス)使用状況の報告	渡邊	①目標 2社 ②DRの呼掛け 年2回(4月、10月) 東海金属工業(株)は月次
	設備	省エネ診断・改善活動等による適正化・標準化の支援	渡邊	都度 (照度、(温度)、圧縮機・機器使用等の適切さの調査)
	工程	設備工事の事前審査	川村 渡邊	都度
水使用量の削減		水もれ点検・確認の実施依頼、節水の呼びかけ	川村	都度
		水使用量の報告(検針時使用状況の確認)	渡邊	偶数月 (変化があるときは協議)
廃棄物の削減	リサイクル	産業廃棄物の見直し(分別の推進)	古屋 渡邊	リサイクル可能品との区分の見直し・分別推進(5月)
法規制の遵守		環境関連法、届出等の見直しの支援	渡邊	組合員対象 (騒音・振動・危険物・廃棄物)
		団地内一斉清掃の依頼と実施(道路等)	古屋	毎月第2水曜日(各事業所前道路の清掃 10分程度)
コミュニケーション	社会貢献	団地内の交流(会議)	川村	都度 (総会、理事会、総務・共同事業・環境委員会、電気担当者連絡会、)
		団地内での交流(懇親会・講習・) 防犯カメラの設置・活用	渡邊 古屋	都度 (安全衛生、省エネ、工場見学、)
緊急事態への準備		大規模地震発生後、復電火災への対処	渡邊	組合員毎の試行 ・推奨年月の過ぎた高圧機器の更新

事務局活動(事業活動による環境負荷低減)

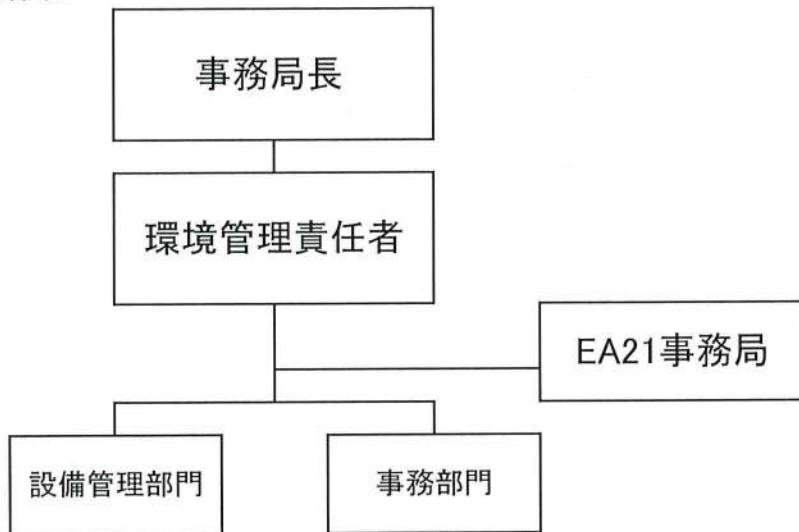
環境活動項目			担当	目的・コメント等
二酸化炭素の削減	設備	改善活動等による適正化	渡邊	都度 (温度) 機器使用等の適切さの調査・調整
	工程	設備工事の事前審査(会館・電気室・水設備等)	川村 渡邊	都度 (シンカム第一)
水使用量の削減		水使用量の検針・確認	川村 渡邊	月次点検時
廃棄物の削減	リサイクル	一般廃棄物の見直し(分別の推進)	古屋 渡邊	リサイクル可能品との区分の見直し(主に紙類)
		最新環境関連法の確認	渡邊	
コミュニケーション		団地内パトロール(ごみ、街路樹、水等)	渡邊	毎日 8:00-8:30
		外部との交流(要望・講習・指導等)	川村 渡邊	都度 (三島市(環境政策・商工他、消防本部、廃棄物課、沼津高専))
		団地内の交流(懇親会・講習・)	古屋	都度 (安全衛生、省エネ、工場見学、)
緊急事態への準備		大規模地震発生後、復電への対処 CABNET 改装 (GRの取付)	渡邊	地震感知設備、運用マニュアル、試行

Creating Shared Value (共通価値の創造) 取組テーマ			
項目(かかわり)	テーマ		
組合員	CO2削減 サービス 防災(レジリエント)	省エネ 電気代削減 水(上水・下水・公共水系) 大規模地震発生後の復電対策	
購入・取引先	環境保全を考慮 安全(安衛則)の配慮		環境方針 電気工事時の「低圧電気取扱」
地域社会	地域貢献 三島市環境政策 警察	地元自治会への参加 保全協 EA21 -IP 反社会的勢力との関係防止	自治会費・イベントへの寄付・懇親会・広報配布 宣言
環境	環境マネジメントシステムの維持 団地環境負荷低減	エコアクション21(0011652) 地球温暖化防止 汚染防止 水資源の有効利用	環境方針 CO2排出量把握 廃棄物の把握、低減 水使用量の把握、低減

6. 取組

6.1 実施体制

①実施体制



②関係者の権限と役割

事務局長

- ① 環境経営全般に関する責任と権限
- ② 環境経営に必要な資源の準備
- ③ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ④ 環境管理責任者の任命

環境管理責任者

- ① 環境経営システム全般の運用・管理
- ② 環境目標及び環境活動計画の作成
- ③ 取組状況の事務局長への報告
- ④ 環境経営レポートの作成、配布管理

EA21事務局

- ① 環境負荷データ等の集計
- ② 環境目標・環境活動計画の進行管理
- ③ 「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者への取組状況の報告
- ⑤ 法規制の遵守状況の確認
- ⑥ 文書・記録の管理

部門

- ① 部門の環境活動計画の実施
- ② 部門データの集計
- ③ 部門の問題点把握と是正対策の実施
- ④ 部門取組状況の事務局への報告
- ⑤ 部門の従業員教育

他の従業員

自分の役割を守り、エコアクション21活動を推進する。

作成 28.09.01

改訂 4.4.25

個人名を削除

団地だより

三島沢地工業団地協同組合

2022
6月発行
第51号

エコアクション21
認証番号0011652

すいそう 隨想



大陽工業(株)
大川 博幸



局長から「趣味でも好きなことでもなんでもいいから原稿よろしく」と言われ、せっかく三島市に会社があるのだから、「三嶋大社」について何か書こうかと思ったのですが、ただ単純に大社について書いてもつまらないと思い、ここはひとつ、大河ドラマ「鎌倉殿と13人」人気に乗っかって、「三嶋大社」と「鎌倉殿」とのゆかりや繋がりについて書こうと思います。

まずは「三嶋大社」について少し書きます。

創建は不明ですが、奈良・平安時代の古書にも記録があるくらい、古い歴史があります。三嶋神は神格と考えられ平安時代には「名神大」に列格されます。社名・神明の「三嶋」は、地名ともなりました。

東海道に面し、伊豆地方の玄関口として下田街道の起点に位置し、伊豆国一宮として三嶋大明神の称は広く天下に広まっていきました。その後、明治四年の近代の社格制度では、官幣大社に列せられます。

平成十二年には、御本殿が国指定重要文化財に指定され、文化的価値の高さも再認識されています。

一方、「鎌倉殿」は1147年に生誕。生誕地は尾張とも、京都とも、鎌倉とも言われていますが定かではありません。



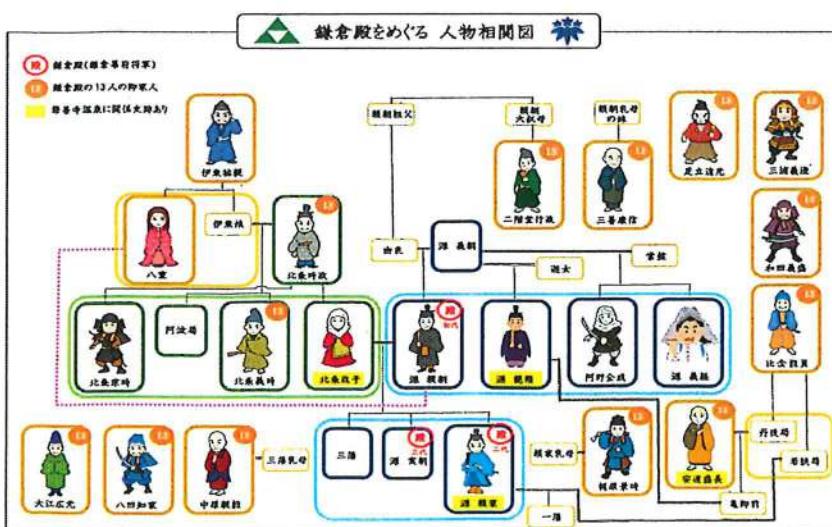
三島大社

父、義朝の三男として生まれますが、正妻の子なので嫡男となります。平治の乱(1159年)で平家に敗れ、わずか数え14歳にして伊豆の国に配流されました。

1177年頃とされていますが、北条時政の長女、政子と結婚し、1180年8月17日、源氏坂東武者の力を借り、ついに伊豆守代、山木兼隆討伐に挙兵します。配流から実に20年の月日が経っていました。

1185年3月、「壇ノ浦の戦い」にて平氏滅亡を成し、1192年ついに「征夷大将軍」となります。

そんな「三嶋大社」と「鎌倉殿」は繋がりが深く、大社のいたるところに頼朝に纏わる物が存在します。(最終ページへ続く)





(1ページ目より続き)

頼朝が挙兵に先立ち、百日の日参をする際に休んだとされる「腰掛け岩」や放生会を行ったとされる「神地」、頼朝旗揚げを顕彰し近代に奉納された「旗揚げの碑」、頼朝が大社に参拝する際、13人の一人、安達盛長が控えた場所とされる「相生の松」など、様々な物が現在も残され、大社内の「宝物館」には妻、政子が奉納した国宝「梅蒔絵手箱」や「第二代鎌倉殿」頼家の唯一の自筆とされる「般若心鏡」なども納められています。大河では頼朝と政子の初デートの場所も大社となっています。



三島大社内神馬舎横にある腰掛け石

すいそう 隨想

大陽工業(株)

大川 博幸

源氏復興を成し遂げ、征夷大將軍まで上り詰めた「鎌倉殿」は「三嶋大社」と「鶴岡八幡宮」を戦国時代の聖地としたのであります。後に「吾妻鏡」を手本に、江戸幕府を開いた徳川家康、三代將軍、家光までもが「三嶋大社」を造営しています。

これを書くにあたり様々な文献を読みあさっていたところ、二つの疑問が生じてきました。



吾妻鏡

一つ目は、「三嶋大社」と「鶴岡八幡宮」の関係です。この二つは作りがよく似ていて、「二つの神池」、「流鏑馬馬場」、「舞殿」など類似した造りとなっています。頼朝が意図した事か、後の誰かが似せたのかは定かではありません。

二つ目は、「三嶋大社」のお祭りで、8月17日に「流鏑馬」を行いますが、これは 頼朝が最初に挙兵した日でもあります。江戸時代に今の日程に設定されたらしいですが、17日に流鏑馬を行うのはどうも偶然すぎるようにも感じます。どこかの機会に又、調べてみようと思います。

コロナ渦の中、3年ぶりに「三嶋大祭り」が今年行われる予定です。「三嶋大社」に参拝の際は、鎌倉時代を造り上げた一人の男が間違いなくこの地を踏んだと思いながら見廻ってみるのも一考かと思います。

最後に我が家家の「御台所」は横浜出身で、旧姓が和田。13人の一人「侍所別当、和田義盛」の末裔です。

団地内1号線の立木伐採しました

団地内一号線法面の立木の伐採を2月に実施しました。目線より約10mの高さに植栽されているため気に掛ける事がほとんどないと思いますが、景観の一体性維持のため、5年毎に伐採作業を関係組合員の協力を戴き実施しています。興味のある方は是非ご覧ください。

伐採前



伐採後



お知らせ
水道メーター更新します

7月～8月にかけて計量法に基づく水道メーターの更新時期を迎えます。

順次更新工事を行いますので、作業へのご協力をお願いいたします。

令和4年度第37回通常総会開催

令和2、3年度の通常総会はコロナ感染拡大局面から会場での開催を断念し書面による採決で開催してまいりました。この2年間はコロナ感染拡大により多くの組合員の皆様が先行きを見通せないなかで一部組合員の事業譲渡や株式譲渡が行われ、これに併せ組合定款の全面改訂も行う等組合にとっても激変の時期がありました。



総会の様子

令和4年度通常総会はコロナ感染が減少に向かい一つある事から、さる5月20日16時よりみしまプラザホテルにおいて久々に会場開催とし、来賓3名をお迎えし実施いたしました。

本総会は役員改選が行われ理事長鈴木基良氏(ドーワテック㈱社長)が再任され、その他の役員についても別表の通り再任及び新任となりました。新役員の皆様の益々の活躍に期待いたします。

組合運営には組合員全員参加が必要となりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

新役員の皆様



コロナ対策として、各テーブル1名ずつ間隔をあけて着席いただきました

役職名	氏名	会社名	新任・留任
理事長	鈴木基良	ドーワテック㈱	留任
副理事長	亀谷泰一	カメヤ食品㈱	留任
"	関本明彦	東海金属工業㈱	留任
理事	今瀬誠	近和電業㈱	留任
"	桐部都宏	(㈱)伊豆フェルメンテ	留任
"	片岡淳志	(㈱)神田工務店	留任
"	田中庸介	新興和産業㈱	留任
"	野田弘之	(㈱)ユニオン・マエダ	新任
監事	勝間田信輔	東洋印刷(㈱)	留任
"	遠藤保弘	(㈱)三光製作所	新任

インボイス制度・電子帳簿保存法 対応準備始めていますか？

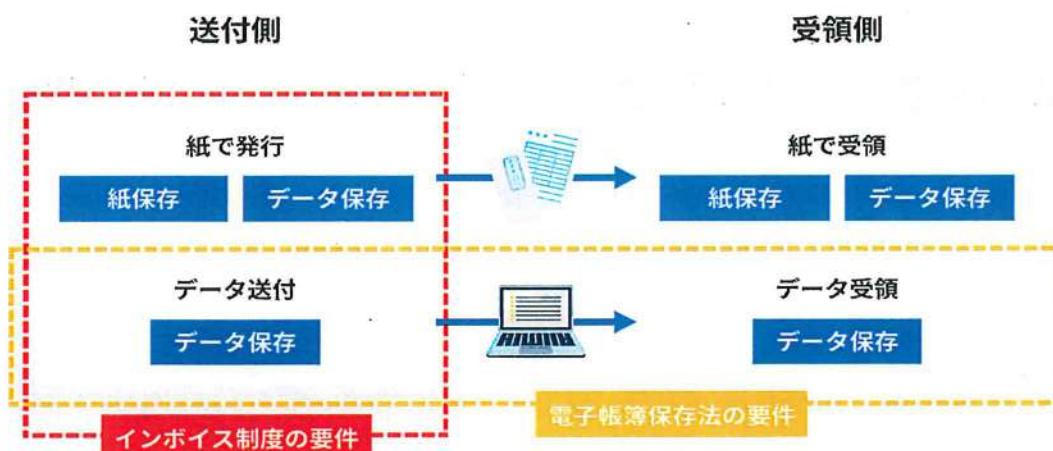
2023年10月1日から導入される新しい仕入税額控除の方式「インボイス制度」。

制度開始前に必要な事前準備として請求書フォーマットやシステムの変更が必要です。

課税事業者は基本的に申請・導入する必要があるため、制度を理解し準備を進めていきたいです。

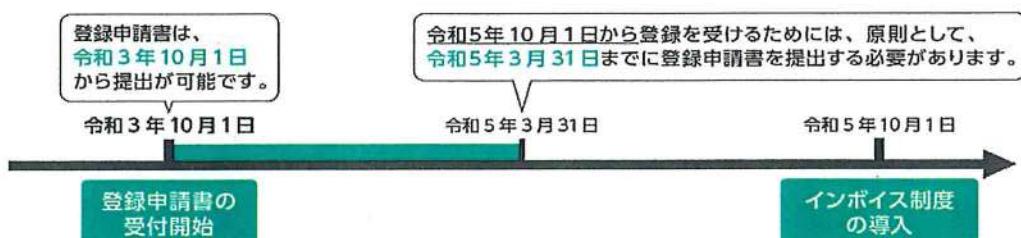
「電子帳簿保存法」では、電子データは電子データのまま保存することが義務付けられており、紙へ出力して保存した場合は、税務上(法人税、所得税)認められなくなります。

2022年(令和4年)1月1日から2年間の電子取引情報について、一定の要件下で、引き続き出力した書面での保存が認められますが、2024年(令和6年)1月1日以降は令和3年度の改正内容に基づいた保存が必須となります。



インボイス制度は売り手側、買い手側双方に適用されます。売り手側は、取引相手(買い手)から求められたときは、インボイスを交付しなければなりません。買い手側は、原則として取引相手(売り手)から交付を受けたインボイスの保存が必要となります。

登録申請のスケジュール



インボイスを発行するためには、適格請求書発行事業者になる必要があります。適格請求書発行事業者になるには、登録申請書を税務署に提出します。

インボイス制度がスタートする2023年10月1日から登録を受けたためには、2023年3月31日までに登録申請書を税務署に提出する必要があります。登録申請書の提出は2021年10月1日から始まっています。

秋ごろに組合事務所にてインボイス制度の説明会を開催予定です。ぜひ参加をお願いします。

団地だより

三島沢地工業団地協同組合

2022
11月発行
第52号

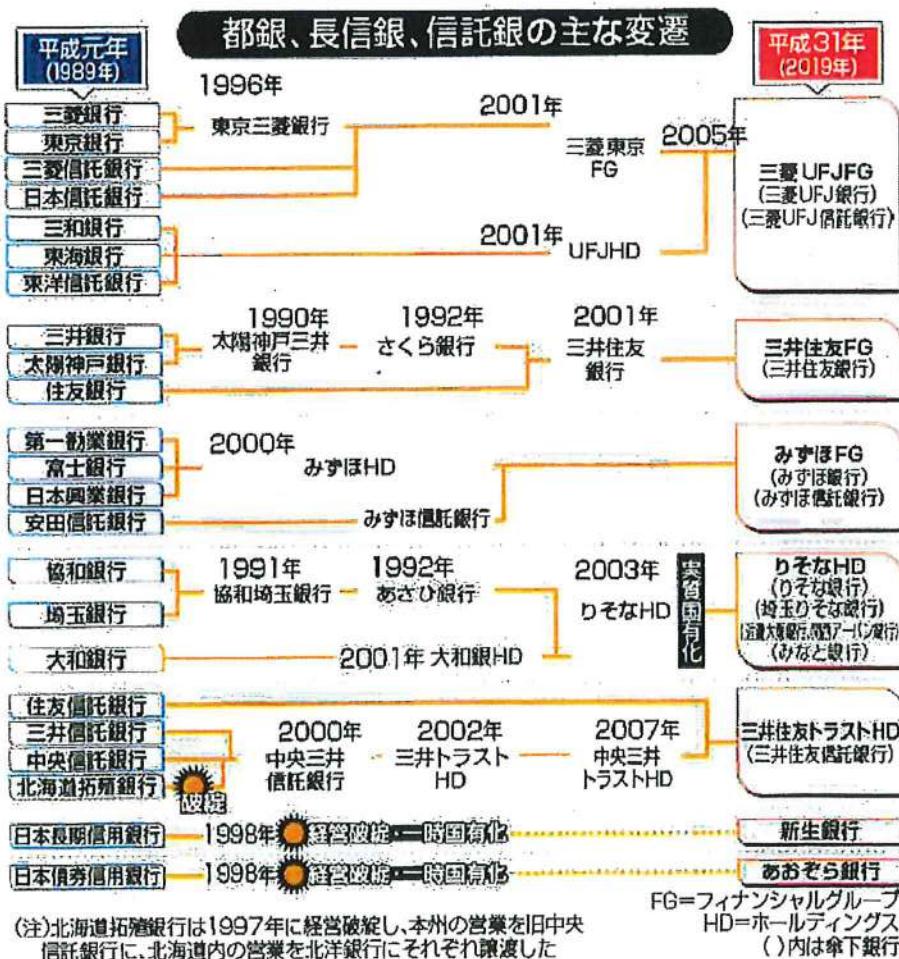


ずいそう 隨想

「隨想」は団地内役員の方々などに、自由投稿で順にお願いしています。

(株)シンカムコーポレーション 経理担当 福島良之

組合事務局より、コラム内容は趣味・家族・会社・その他好きな事など自由に気楽な気持で書いて頂ければと依頼がありました。経理担当者でもあり、普段取引している都市銀行って、昔は何行あったのだろうと、ふと思い、変遷を調べてみました。



戦後、都市銀行再編の第1波は1970年(昭和45年)代初めに到来。1971年(昭和46年)に第一銀行と日本勧業銀行が合併をして第一勧業銀行、1973年(昭和48年)に神戸銀行と太陽銀行が合併して太陽神戸銀行が誕生した。

これにより、都市銀行はピーク時の15行から13行へとなり、この体制が平成の初めまで20年近く続いた。

金融界はバブル崩壊後1991~1993年(平成3年~5年)、不良債権等抱え込み連鎖的な危機の中、再編・淘汰を繰り返した。しかし、信用不安は増幅し、当時金融機関を危機から救う制度はなかった。

1998年公的資金による金融機関の資本増強が可能になり、大手21行に実行され不良債権処理に費やした費用は、100兆円以上にのぼった。

危機終えんの兆しが見えたのは2000年(平成12年)代に入ってからだ。

平成30年間に破綻した銀行や信用金庫、信用組合などは180超。公的資金活用などで生き残った金融機関も合併や統合を追られ、大手銀行は23行から5陣営に集約された。

(注)北海道拓殖銀行は1997年に経営破綻し、本州の営業を旧中央信託銀行に、北海道内の営業を北洋銀行にそれぞれ譲渡した

太陽光発電システムのしくみと構成例

カメヤ食品(株)の自家消費型太陽光発電設備

団地内ではドーワテック(株)に続き2カ所目になる、カメヤ食品(株)で設置した「自家消費型太陽光発電設備（発電能力最大139kW）」のしくみを簡単に紹介します。

「太陽光発電システム」では、シリコン半導体に光が当たると電気が発生する現象を利用し、太陽の「光エネルギー」を直接「電気エネルギー」に変換して活用します。太陽電池モジュールの発電によって生まれる直流電力は、パワーコンディショナによって、一般に利用できる交流電力（電力会社が供給するのと同じ）に変換され、工場等で自家使用されます。



パワーコンディショナ(PCS)

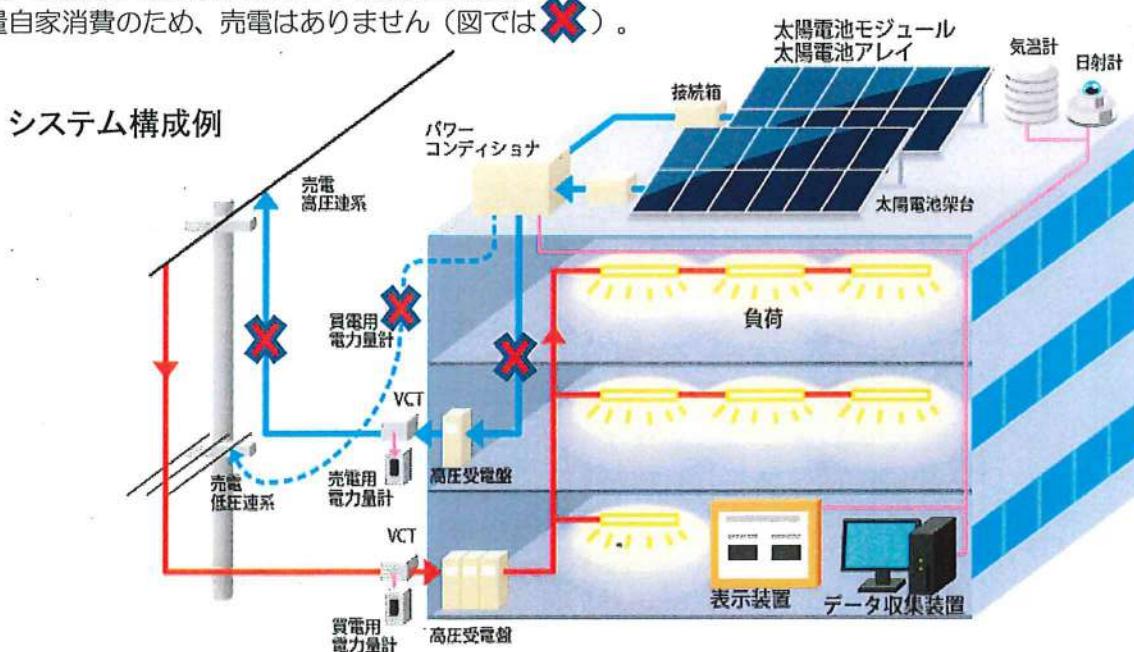


太陽電池モジュール(PV) 西側



PV 東側

写真・実例は、設置されたカメヤ食品(株)のもの。
全量自家消費のため、売電はありません（図ではX）。



太陽光発電システムのしくみ

電池アレイ	直並列接続された複数の太陽電池モジュールを機械的、電気的に架台に取り付けた太陽電池群。
太陽電池モジュール(PV)	太陽光エネルギーを直接電気エネルギー（直流）に変換するパネル。
パワーコンディショナ(PCS)	太陽電池モジュールから発生する直流電力を最大限引き出すように制御するとともに交流電力に変換する。通常、電力会社からの配電線（商用電力系統）に悪影響をおよぼさないようにする連系保護装置を内蔵している。自立運転機能を備えている場合は、商用電力が停電した際に特定の負荷に供給できる。
買電用受変電設備	電力会社からの商用電力系統(6.6kVなど)を受電し、必要に応じて低圧の動力電源(3相3線200V)電灯電源(単相3線200/100V)に変換する。

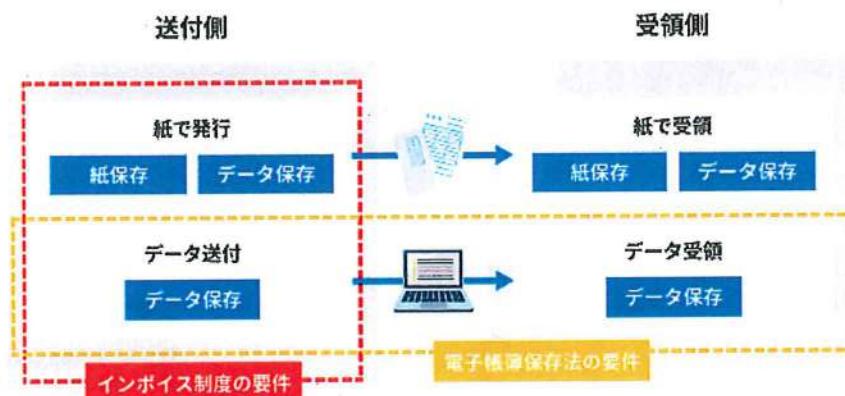
電子帳簿保存法とは国税関係（法人税や所得税法）で原則として紙での保存が義務づけられている帳簿書類について一定の要件を満たした上で電子データによる保存を可能とすること、および電子的に授受した取引情報の保存義務等を定めた法律です。

令和3年度の税制改正により電子帳簿保存法は、新型コロナの影響もあり今までの制度から大きく変化し、今まで一部の企業しか利用できなかった制度の多くが中小企業でも利用しやすくなりました。一方で所得税と法人税を申告するすべての事業者が対象となる電子取引については、要件が強化されました。

インボイス制度と電子帳簿保存法

インボイス制度では「インボイスの適正保存」が義務付けられており、
制度が導入されると、保管義務は送付側に対しても課されます。

電子帳簿保存法では、電子データは電子データのまま保存することが義務付けられており、
紙へ出力して保存した場合は、税務上（法人税、所得税）認められなくなります。



インボイス制度導入にあわせて推奨される「電子帳簿保存法」への対応

紙で受け取った請求書は
税務署への届出無しで
電子保存が可能に

電子で受け取った請求書は
一定の要件を満たした状態で
電子保存が義務化

電子保存ができない場合、
罰則規定がある

企業の経理業務における
電子化のハードルが格段に下
がる

改ざんなど課税上問題となる
行為を防止する観点から
保存方法を定義

保存方法を遵守する力学
という位置づけ

電子保存の義務化は2年間（2023年12月まで）の有効期間が設けられた

法改正の流れ

改正電子帳簿保存法

2022年1月
電子取引義務化
や1年間の実施期限

2023年12月末
電子取引義務化の
有効期限終了

インボイス制度

2021年10月
「適格請求書発行業者」
登録申請開始

2023年3月末
「適格請求書発行業者」
登録申請期限

2023年10月1日
インボイス制度開始

インボイス制度・電子帳簿保存法 研修会開催



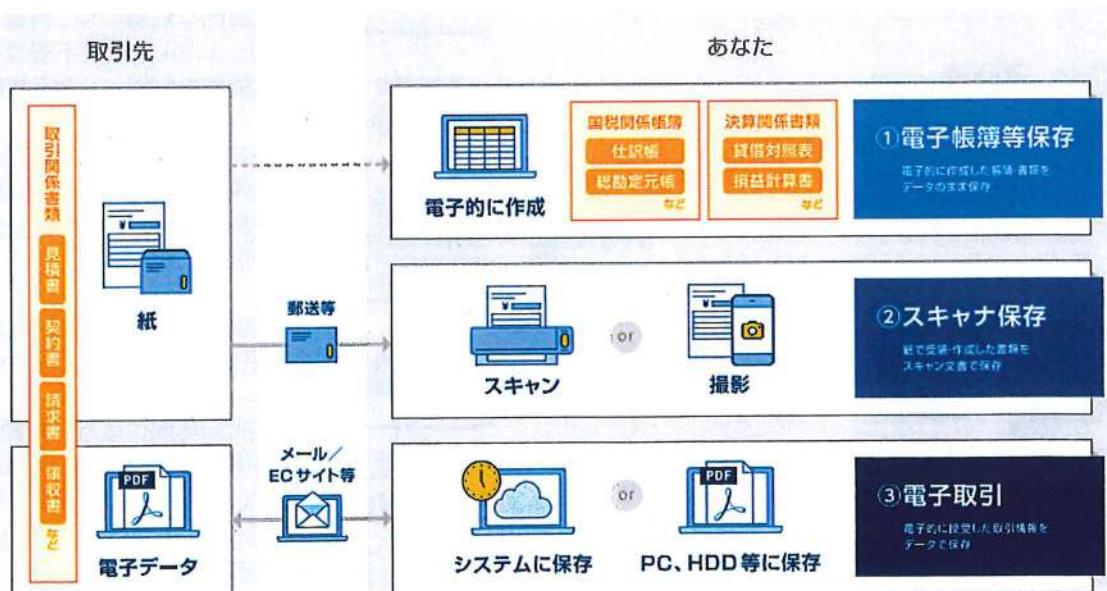
大嶽公認会計士・税理士 大嶽貴弘 氏による研修の様子

適格請求書（インボイス）とは売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるもの。具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」「適用税率」及び「消費税額等」の記載が追加された書類やデーターを言います。買手は仕入れ税額控除の適用を受けるために、原則として取引相手（売手）が交付したインボイスの保存が必要となります。

インボイス発行事業者となるためには登録申請手続きが必要となり、制度が導入される令和5年10月1日からインボイス発行事業者になるためには、原則として令和5年3月31日までに登録申請手続きを行わなくてはなりません。

電子帳簿保存法とは

各税法で原則として紙での保存が義務づけられている帳簿書類について一定の要件を満たした上で
電子データによる保存を可能とすること、および電子的に授受した取引情報の保存義務等を定めた法律です。
電子帳簿保存法上、電磁的記録による保存は、大きく3種類に区分されています。



9月29日、10月5日の二回に渡り、インボイス制度と電子帳簿保存法の概要と対策の研修会を開催しました。講師に大嶽公認会計士・税理士 大嶽貴弘 氏を迎え、静岡県中小企業団体中央会補助事業の補助金を利用した研修になります。

「インボイス制度」研修会では、令和5年10月1日より導入される適格請求書保存方式（インボイス制度）への対応について組合員企業へ制度の周知を図るとともに理解を深めるため解説が行われました。



インボイス制度研修16名、電子帳簿保存法研修15名とたくさんの方にご参加いただきました

三島地だより

三島沢地工業団地協同組合

2023
1月発行
第53号



EA
エコアクション21
認証番号0011652

新年抱負

鈴木基良理事長(ドーフテック(株)社長)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス・ロシアのウクライナ侵攻・更に記録的な円安と疲弊した日本経済に追い打ちをかける状況となり、先行きの不透明感が更に増大しました。一方、昨年末サッカーワールドカップで日本選手の活躍が沈滞ムードの日本に明るい話題を提供してくれました。惜しくもベスト8には手が届きませんでしたが確実に世界レベルの技術を日本が持った事を世界に示した試合でした。日本人として勇気と希望を与えてもらった気がします。最後まで諦めない気持ちを日本の産業界にも活力として与えてくれた様に感じます。

三島市長選も現職豊岡市長の再選で、新しい景色ではないものの、安定した三島市政を期待したいところです。まだコロナやウクライナ情勢による影響・物価上昇等、今年も厳しい状況は続くと考えられます。慎重に企業活動を進めて頂く様、組合員皆様方のご理解・ご協力を願い致します。

本年の組合員皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



龜谷泰一副理事(カメヤ食品(株)社長)

W杯カタール大会の熱狂冷めやらぬまま新年を迎える。皆様には謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日常生活の正常化が進むなか、人流の回復に伴い、宿泊・飲食サービスなどが上向きとなり、当社の生業である観光業も明るい兆しが見え始めました。反面、ウクライナ危機により、食材の高騰や資源高による先行きの不透明感が色濃くなりました。予想外の連続で、昨年はうろたえ続けた一年でもあり、神社にお参りする回数が増えました。

その任寅が明け、今年は癸卯(みずのとう)。正しく筋を通していけば繁栄すること。兎にあやかり、飛躍の年に!との願いを込めて。

最後になりましたが、三島沢地工業団地の皆様と支えるご家族のご健康とご活躍を祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。



関本明彦副理事(東海金属工業(株)副社長)

明けましておめでとうございます。

今年は元旦から天候にも恵まれ良い一年のスタートとなりました。

昨年は三年にも及ぶコロナウイルス感染症の影響に加え、国際情勢の不安定な状況、円安・インフレによる金利上昇、資材不足等々苦労の絶えない一年であったのではないでしょうか。先行きは依然として不透明ですが、感染対策に留意し、正常な社会生活を送ることができるように期待しています。

卯年は芽を出した植物が成長していく茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは飛び跳ねることから、飛躍するという象徴になります。さらに、たくさんの子を産むことから豊穣、子孫繁栄のシンボルになっています。よりよい年となるよう頑張っていきましょう。

卯年が皆様にとって飛躍の年となることを祈念致しまして年頭の挨拶とさせて頂きます。



沢地にある神社を訪ねてみませんか？

駒形神社(こまがたじんじゃ)

駒形神社の鎮守の森の木

団地のある三島沢地は箱根西麓から流れる沢地川沿いに開かれた集落です。沢地は古くから箱根神社と繋がりが深く、戦国時代には箱根權現(ごんげん)(江戸時代までの名称)神領の記録が残り、江戸時代まで年貢を納め続けていたそうです。明治以降は毎年各農家から米を集め、御供米(ごくまい)として奉納していました。毎年八月に行われる箱根神社の祭りで、芦ノ湖でお櫃(ひつ)を沈める神事には沢地の米が使用されたと言われます。



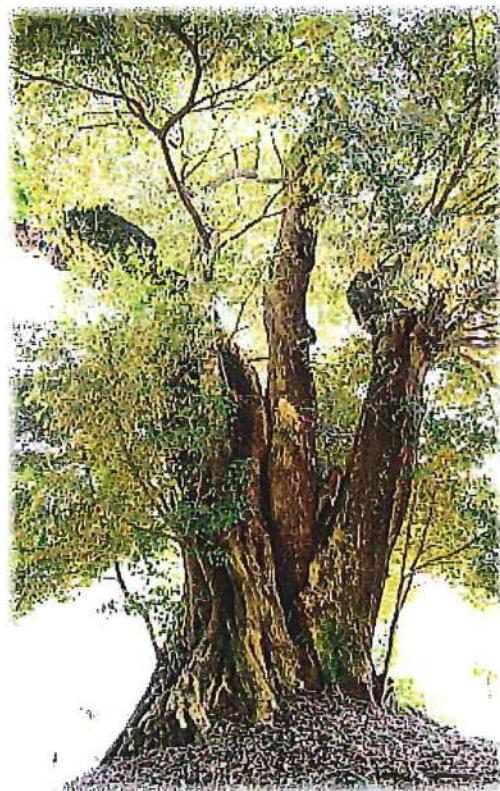
沢地の産土(うぶすな)神、駒形神社

沢地川から幾筋もの用水を引き豊かな水田が広がっていた農村風景は近年の住宅開発で変貌しつつありますが、農村で唯一森を残しているのが氏神様の鎮守の木立だと言えます。

古くから箱根權現領だった豆州沢地村は駒形神社に関する報告も箱根權現の役人に提出することが習わしでした。三役(名主・与頭・百姓代)の治右衛門、源右衛門、七郎左衛門から箱根山大庭庄左衛門に宛てて安永3年(1774)2月に提出された報告書「安永3年の沢地駒形神社の鎮守の森の木数調べ」という古文書には、氏神の森内にあるすべての樹木について、樹種、樹高、太さ(目通りと思われる)が列記され、最後に樹種別の本数と、太さが尺を超えたかった冬木(雑木であろうか)50本余りを記しています。

樹種で多数を占めるのはスギで77本、次いでマツが10本です。スギ、マツのように建築材として利用価値のある樹木は、神社の改築などの場合を想定して村人が植林したものだろうと考えられます。興味深いのは雑木に類する樹木で、ミズクサ、モチノキ、ムクノキ、ツバキ、ケンブンナシ、コガ、サカキ、コナラ、アテビ、サクラなどです。

四季折々の美しい森の景観を作り出した雑木群や、名前も聞いたことのない樹木が沢地村鎮守の森の社を守っていたのでしょうか。



駒形神社の参道入口に立つ、
樹齢約600年と言われる大木スマジイ

組合では切手・印紙を販売しています
一枚からご利用いただけます
(シール切手は10枚単位)

切手:2円・10円・84円・84円シール(10枚単位)
94円・100円・120円・140円・210円・320円
500円

印紙:200円・400円・500円・600円・1000円
2000円・4000円・5000円・6000円・1万円
2万円・4万円・6万円

1. エコアクション21

電気主任 渡辺 操

1.1 活動結果 (抜粋)

7. 環境経営目標・計画の結果の評価、次年度の計画



③ 環境実績トレンド(平成30年4月から令和4年3月)

電気使用量は、企業は増・組合は横ばい。

CO2 換算係数		0.455	0.441	0.441	0.441		
項目	単位	30年	1年	2年	3年		
電力使用量(団地)	Mwh	10,672	10,214	9,706	10,169		
電力使用量(組合)	Mwh	183	186	164	163		
二酸化炭素排出量(団地)	t-CO2	4,856	4,504	4,280	4,485	電気のみ	
二酸化炭素排出量(組合)	t-CO2	83	82	72	72	電気のみ	
一般廃棄物(団地)	トン	21.6	21.1	19.8	19.8		
水使用量(団地)	Km ³	104	106	98	94		

1.2 更新審査(3)結果

推奨事項として次の2件を言わされました。

- ①外部コミュニケーションの多様な実施
- ②緊急事態へ新たな視点での取り組み検討して、来期の計画に反映させていきます。

2. 電気関係

コロナ・インフルエンザ対応のため、本年度は「電気取扱者連絡会」を実施いたしません。
実施した事項、来年度の予定をお知らせします。

2.1 実施(点検/工事)

月日	分野	タイトル / (実施機関)	概要
2022 4/2, 3, 10	設備保全	受電設備 年次点検 東京電気管理技術者協会13名	電気事業法 高圧設備1年に1回以上の停電点検 機器の経年変化、動作試験、他
2022 3/20, 4/3 4/10, 4/24	設備工事	Cabinet改造 推奨数経過機器、故障機器の更新 組合・興栄電気・米澤電設・サトーテクノ	各CABnet内LBS交換、地絡継電器の設置 該当箇所は、事前に連絡・見積もりをしています。

2.2 予定(点検/工事、教育訓練)

月日	分野	タイトル / (実施機関)	概要
2023 4/2, 9, 10	設備保全	受電設備 年次及び精密点検 東京電気管理技術者協会13名	電気事業法 高圧設備1年に1回以上の停電点検 機器の経年変化、変圧器絶縁油の性能試験、他
2023 4/9	設備工事	推奨数経過機器、故障機器の更新 組合・興栄電気・サトーテクノ	該当箇所は、事前に連絡・見積もりをしています。
2023 5月 未定	安全/電気	特別講習「低圧電気取扱」 講師 東京電気管理技術者協会(木村・金指) 東電PG	労働安全衛生法 規則36条4
2023 6月 未定	BCP	大規模地震後復電操作訓練 講師 東京電気管理技術者協会(木村・金指)	(未使用配線の停電確認後) QB内低压NFBの操作

謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年を振り返りますと、長引くコロナ禍に加え、2月にはロシアのウクライナ侵攻、7月には安倍晋三元首相の銃撃事件といった衝撃的なニュースが駆け巡り、まさに先の見通せない波乱に満ちた一年になりました。経済面でも、サプライチェーンの混乱から輸入材を中心に直面していた調達難や価格高騰に、急激な円安が追い打ちをかけたことで、企業収益や家計が圧迫され、景気回復に向けては力強さに欠ける展開が続きました。

過去の卯年を振り返ると1975年(昭和50年)ベトナム戦争が終結し、1987年(昭和62年)米ソで中距離核戦力全廃条約が調印されるなど、世界平和への期待が膨らみました。一方で、1999年(平成11年)茨木県東海村の核燃料工場で国内初の臨界事故が発生、さらに2011年(平成23年)には東日本大震災が空前の被害をもたらし、とくに福島第一原発の大事故は原子力発電の安全神話が崩壊し、国内のみならず世界各国のエネルギー政策に大きな影響を与えました。同年、中東諸国などにおける「アラブの春」はその後、多くの国々で混乱が泥沼化しました。

今年は「癸(みずのと)卯(う)」の卯です。「癸(みずのと)」は「種子の中で新しい生命が育ち、その大きさが測れるほど成長した状態」を指し、「卯(う)」は「茎や葉が大きく育っていく状態」を表しています。環境変化の激しい昨今ですが、2023年(令和5年)は、成長に向かう明るい希望の感じられる一年になることを祈念しまして、新年的挨拶とさせていただきます。(事務局長)



沢地町内会との情報交換会開催

コロナ禍により二ヶ年中止となっていた沢地町内会との情報交換会を11月25日(金)四季酒菜「風土」にて開催いたしました。

沢地町内会からは外岡町内会長、神山副会長をお迎えしました。

二年間のブランクもあり、町内会・組合ともに一部役員に交代がありました。環境問題(河川、不法投棄、車両騒音等)に高い関心を持たれていることが分かり、今後の課題も見えてくる有意義な意見交換会となりました。



今年度の専用水道立入検査終了しました

三島市内には専用水道施設を設置している事業所が沢地工業団地のほか12事業所あります。専用水道は飲料水や食品加工等で使用しているため行政(三島市)、町村の場合は静岡県(東部健康福祉センター)による年1回の施設立入検査が実施されます。検査では、運用面(水質、水質検査計画、業務委託機関等)が適正に行われているかが問われます。

今回(12月1日)の立入検査結果も及第点をいただきました。組合員の皆様には安心して水道水をご使用いただけます。引き続き水道事業へのご理解とご協力を願いいたします。

第三駐車場舗装工事完了

団地の給水施設に隣接する第三駐車場は、未舗装で、春から秋の間、雑草の繁茂により利便性にも欠ける状態でした。利用率も低下していましたが、12月1日~6日にかけ舗装工事を実施し、新たな駐車場(7台)となりました。

整備により勾配も抑えられ使いやすくなり、利便性の向上につながったものと思います。



6.5 緊急事態への準備及び対応



改訂 29.11.25

改訂4 2.4.23

対応手順 (停電後)

<事務所・電気室・幹線>

(電気主任・委託技術者)

<強制停電> (自動停止:設置・調整中)

震度6弱+東電停止2分以上継

・組合主VCB(遮断器)開放

<点検> CAB～CAB①/CAB～QB①

1.目視、絶縁測定(5000Vメガ)

2.QB 低圧側NFB開放
<異常時> CAB内LBS開放

<送電> 電気室～QB1次側

組合主VCB(遮断器) 投入

<事業所対応> (優先順位あり)

1.手順書・人の確認

2.QBの鍵、絶縁計 (500Vメガ)の貸出

<組合員・事業所>

<状況確認>

機械の移動・物の落下・電線の潰れ等

<事業所 QB内> (資格者による)

1.絶縁の確認

NFB2次側が開放(ノッチが下側)のこと。
絶縁計(500Vメガ)を使用して測定。
値が $0.2M\Omega$ 以上を確認し、チェックリスト
に値を記入。(緑マークは未使用で不要)

2.電圧の確認

高圧(6600V)、動力(200V)、電灯(100/200)の
メータ針が、スイッチ切替で示していること。

3.通電作業 (NFB投入(ノッチを上側に))

- ① $0.2M\Omega$ 以上は投入
- ② $0.2M\Omega$ 以下は未投入(下側)

返却 QB鍵、絶縁計 提出 チェックリスト²

実施

1.組合事務局

1.1 図上確認 R4.6.10

組合 渡邊

新型コロナ対応で、手順の確認をする。

*評価 実施可能・効果ありと思われる。(渡邊)

1.2.電気室 ①地震感知・停止装置は、停電機能で運用。(継続)

2.各組合員

2.1 マニュアルのレクチャー・テストの実施計画 令和4年12月

2.2 「レクチャー・テスト」 令和4年度は新型コロナ対応で中止。

2.3 特別教育「低圧電気取扱」の中で、参加者に説明。

特別教育の講習は、理事会の決定で令和5年に延期。

7. 環境経営目標・計画の結果の評価、次年度の計画



7.1 環境経営目標の結果とその評価

① 運用期間(令和4年4月～令和5年3月)の環境経営目標の実績と評価

項目	単位	基準期間		運用期間						
		令和3年度		令和4年4月～令和5年3月						
		基準値	削減率等	目標値	実績値	比率	評価	CO2量	割合	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	73,807	-1%	73,069	70,698	-3.2%	○	70,698	--	
内訳	電力	Kwh	163,082	-1%	161,451	155,847	-3.5%	○	68,729	97.2%
	ガソリン	L	599	-1%	593	548	-7.6%	-	1,271	1.8%
	灯油	L	200	-1%	198	280	41.4%	-	697	1.0%
廃棄物排出量	産業廃棄物	Kg	220	-	-	0	--	-		
	一般廃棄物	kg	19,859	-1%	19,660	19,545	-0.6%	○		
水使用量	m ³	94,164	-1%	93,222	84,432	-9.4%	○			
省エネ提案・活動	件	2		2	2		-			
環境関係法の調査	件	1		1	1		-			
自然環境に配慮した活動	件	1		1	1		-			

<備考>削減比率は、目標値に対する削減量の割合である。

・電力CO₂換算係数は、東京電力EP2019年(令和元年)「0.441Kg-CO₂/KWh」(調整値反映後)を使用。

・ガソリン・灯油は、CO₂比率が5%未満・必要量のため、評価・分析・是正の対象としない。

② 原因分析・是正処理

要因	組合員企業の生産活動は戻りつつある。 は、主に上水供給・下水処理に用いる。	・団地全体の電力使用量は増えた。 ・組合の電気使用
対策	上水供給ポンプの水圧を0.5Mpa ⇒ 0.43Mpa に変更し、電力量削減を図る。	

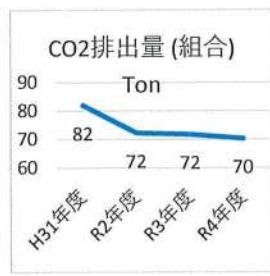
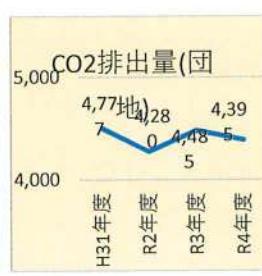
7. 環境経営目標・計画の結果の評価、次年度の計画



③ 環境実績トレンド(平成31年4月から令和5年3月)

電気使用量は、企業は増・組合は横ばい。

CO2 換算係数		0.441	0.441	0.441	0.451
項目	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
電力使用量(団地)	Mwh	10,216	9,706	10,168	9,744
電力使用量(組合)	Mwh	186	164	163	156
二酸化炭素排出量(団地)	t-CO2	4,506	4,280	4,485	4,395
二酸化炭素排出量(組合)	t-CO2	82	72	72	70
一般廃棄物(団地)	トン	21.1	19.8	19.8	19.5
水使用量(団地)	Km ³	106	98	98	84



④ 次年度以降(中期)の環境経営目標

基準年は、「前年度」とし、毎年1%削減する。

項目	単位	基準年度		比率/目標値等			
		令和4年度	令和5年度 比率 数値	令和6年度 比率 数値	令和7年度 比率 数値		
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	70,698	-1%	69,991	-1%	69,291	-1%
内訳	電力	Kwh	155,847	-1%	154,289	-1%	152,746
廃棄物 排出量	産業	kg	0	--	200	--	0
	一般	kg	19,545	-1%	19,350	-1%	19,156
水使用量	m ³	84,432	-1%	83,588	-1%	82,752	-1%
組合員へのサービスによる環境貢献							
省エネ提案・活動	件	2		2		2	
環境関係法の調査・支援	件	1		1		1	
自然環境に配慮した活動	件	1		1		1	

<備考>

- 電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー2020年(令和2年度)の「0.441kg-CO₂/kWh」(調整値反映後)を
- 灯油・ガソリンはエネルギー使用割合が2%以下なので目標としない。(実績値は集計し、二酸化炭素排出量に含める。)
- 水使用量・廃棄物排出量は組合員の活動結果。

7. 環境経営目標・計画の結果とその評価、次年度の計画



7.2 環境経営計画の結果とその評価、次年度計画への反映 (取組期間: 令和4年4月～令和5年3月)

① 組合活動/提言・支援(サービスによる環境貢献)

環境活動項目		実績・コメント	評価	計画	
二酸化炭素の削減	省エネ診断と助言	① 太陽光発電の設置(1社)。	△	継続	
	組合員への資源(電気・ガス)使用状況の報告	・年1回実施。 東海金属工業は毎月(EA21) MV東海 半期毎に。(2回/年)	△	継続	
	設備工事の事前審査	1社 (東海金属工業三島工場 LED化設置)	△	継続	
水使用量の削減	水もれ点検・確認の実施依頼、節水の呼びかけ	2件 (シンカムコーポ第一、ナポー)	○	継続	
	水使用量の報告(検針時使用状況の確認)	都度 上水ポンプ 監視装置の維持・監視	○	継続	
廃棄物の削減	リサイクル	産業廃棄物の見直し(分別の推進)	リサイクル可能品との区分の見直し・分別推進 の呼掛け(7月)	△	継続
法規制の遵守		環境関連法、届出等の見直しの支援	組合員対象 (騒音・振動・危険物・廃棄物) マニュフェスト使用状況届出 消防設備設備点検の実施(7月 1月)	○	継続
コミュニケーション		団地内一斉清掃の依頼と実施 (道路等)	毎月第2月曜日 その事業所始業前10分程度 ⇒ 第2水曜日に変更 延べ60社 (朝パトロール時の確認)	○	継続
	社会貢献	団地内の交流(会議)	総会、理事会2、総務・共同事業・環境委員会各0、電気担当者連絡会0 理事会以外は書面による。(コロナ対策)	△	継続
		団地内の交流(懇親会・講習・) 防犯カメラの設置・活用	ボーリング大会 中止 活用(異常は無し)	△	継続
緊急事態への準備		大規模地震発生後、復電火災への対処	組合員毎の試行(東海金属工業4事業所) 中止 特別教育講習で説明	△	継続

② 事務局活動(事業活動による環境負荷低減)

環境活動項目		目的・コメント等	評価	計画	
二酸化炭素の削減	設備	改善活動等による適正化	都度 (温度) 機器使用等の適切さの調査・調整	○	継続
	工程	設備工事の事前審査 (会館・電気室・水設備等)	街灯の点灯消灯時間の調整、上水設備調整(背圧を変更 0.5MP ⇒ 0.42MP) 全高压接続箱(CAB)の改修(地絡対応)の準備と一部前倒し実施	○	継続
水使用量の削減		水使用量の検針・確認	月次点検 組合水使用量の(圧力と水量)記録・データ分析 設置	○	継続
		一般廃棄物の見直し(分別の推進)	リサイクル可能品との区分の見直し(主に紙類)	△	継続
法規制の遵守		最新環境関連法の確認	最新版の確認(令和5年3月)	○	継続
コミュニケーション		団地内パトロール(ごみ、街路樹、水等)	毎日 8:00-8:30 (パトロール記録)	○	継続
		外部との交流(要望・講習・指導等)	三島市(環境政策・商工他、消防本部、中小企業中央会、地元自治会、沢地小 コロナ対策のためすべて中止	△	継続
		団地内の交流(懇親会・講習・)	都度 (安全衛生、省エネ、工場見学、) 中止	△	継続
緊急事態への準備		大規模地震発生後、復電への対処	中止	△	継続

③ 教育訓練の実施

日時	分野	タイトル / 実施機関	概要	評価	計画
---	生産性向上 (安全衛生)	生産性向上支援講習		△	中止
---	防災	救命訓練 岳南消防署	救命(心肺圧迫)、AED使用の応急訓練 (講師側事情 改正と未教育)	△	継続
---	BCP	大規模地震後復電操作訓練 三島沢地工業団地協同組合	停電後 QB内低圧NFBの操作 東京電気管理技術者協会(木村・金指)	△	継続
-	生産性向上 (IT技術)	生産性向上支援講習		△	継続
05.03 →05.06 延期	安全/電気	特別講習「低压電気取扱」 三島沢地工業団地協同組合	労安法 (電気技術者協会・東電PG・組合) 3社10名	○	継続

8.環境関連法規等、その遵守状況の結果、違反、訴訟等の有無



8.1 環境関連法規等、及び遵守状況

評価日 令和5年3月22日～24日

評価者 渡邊 操

法律/条例		条項	遵守事項または規制基準	当事務局の適用及び対応	○は遵守	実施・確認
義務	法令/条例	第10条 浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃に実施	保守点検及び定期清掃の実施 (2か月毎)	○	記録
		第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回／月・年)	○	記録
		廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2第6項 (事業所系)一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○	記録
		消防法	第9条の4 少量危険物 及び指定可燃物の貯蔵及び取扱基準	・市町村条例で定める ・指定可燃物:紙屑、プラスチック類等	対象外	(支援)
		第11条	指定数量以上の危険物保管の届出	指定数量以上の危険物の保管の消防署への届出	〃	
		第13条	危険物の取扱作業に関して保安の監督	危険物取扱者の設置	〃	
		第17条の3	消防用設備等の点検及び報告	消防設備の定期点検(2回/年)	○	記録
		第8条	防火管理者の選任・届出	特定50名以上、防火対象物(500m ²) (業者委託) 結果の確認	○	記録
		水道法	第19条～39条 届出・水道技術管理者の設置・水質検査	年2回	○	
		環境保全協定(三島市)	細目書第1条1-5 調整池 総合排水測定結果の報告	三島市環境企画課	○	記録
			細目書3(2) 調整池 維持管理に関する報告	三島市土木課	○	記録
			浄水検査報告	三島市水道課	○	記録
責務・努力	法令	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第41条 第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務 簡易点検の実施(使用前後)・記録	○	記録
		環境基本法	第8条 自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○	
		地球温暖化対策推進法	第5条 自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○	
		循環型社会形成推進基本法	第11条 廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○	
		リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	第4条 指定再資源化製品のリサイクルへの協力(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○	本年なし
		省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)	第4条 省エネの自主努力	省エネ(電気量削減)	○	

8.2 環境関連法の最新版の確認

EA21中央事務局のHPを参照する。

令和5年3月

8.2 違反、訴訟等の有無

① 令和4年4月から令和5年3月まで、環境関連法規等への違反はありませんでした。

② 令和4年4月から令和5年3月まで、関係当局・近隣からの違反・苦情等の指摘は、ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

令和5年4月21日、令和4年度の取組について、環境管理責任者と評価・見直しのミーティングを行った。

1. 実績の評価

団地全体活動は、新型コロナ対応がなされ、事業活動が活発化している。業種間、企業間で差異はあるものの、昨年度に比べて伸びている。

- ①環境経営目標は、二酸化炭素排出量・電力使用量・一般廃棄物及び水使用量の年度目標は達成した。
- ②環境経営計画は、新規アイテム・更新への提案が少なかった。
新型コロナ対応で、内部・外部コミュニケーション(打合せ・講習・懇親会等)の実施は今年もできなかつた。教育訓練(講習)は、原則中止とした。
要望があつた特別教育「低圧電気取扱」は、3月を6月に延期した。
- ③実施体制で、人員の移動・変更はなかつた。
- ④新規業種・企業の転入はなかつた。
- ⑤環境改善活動は、有効に機能していると判断する。

2. 見直し

- ①環境経営目標の設定は、基準年を前年度する方法は、継続する。
- ②環境経営計画は、組合・事務局の項目は、継続・実施する。
- ③実施体制はそのままとする。

3. 指示

- ①環境(経営)方針は、必要に応じて改訂する。
経営における課題とチャンスを考慮して、特に人材育成と景観・緑化を大切にする工業団地の価値向上を図るものにする。
- ②新規企業の転入があるので、環境アセスメントを実施して、環境への負荷の状況を把握しておく。
- ③人(環境事務局)が入れ替わるので、必要な教育・訓練を実施すること。

令和5年4月21日
三島沢地工業団地協同組合
事務局長 川村 輝男

Mishima Swazi Industrial Park

豊かな自然と 恵まれた環境の中で 共存しながら進化し続ける力



1 食料品製造業

カメヤ食品株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台5番地
TEL / 055-988-5555 FAX / 055-988-5155
E-mail heiseidai@kameya-food.co.jp URL http://www.kameya-food.co.jp

- わさび漬、おろしわさび、わさびドレッシング 等
- 漬物 ●佃煮 ●海産品 ●各種茶漬 ●ふりかけ



仕事に対する誇りと専門知識がカメヤの資本です。一わさびメーカーを一步超えて総合力で地道な物づくりに取り組みます。

資本金 4,890万円
設立年月日 昭和22年3月3日
代表者 代表取締役社長 龜谷泰一
従業員 100人

2 食料品製造業

株式会社伊豆フェルメンテ

〒411-0042 静岡県三島市平成台6番地
TEL / 055-989-0543 FAX / 055-989-0544
E-mail izuFMT@carrot.ocn.ne.jp

- 【本社工場】 ●米麹甘酒 ●デザート ●ジャム ●飲料水
- 【平成台工場】 ●伊豆味噌 ●金山寺味噌



昭和24年株式会社伊豆味噌醸造所設立。
積極的な商品開発により、各製品美味しさを
引き出し、全国規模で販売を展開しています。

資本金 2,000万円
設立年月日 昭和55年7月3日
代表者 代表取締役社長 桐部都宏
従業員 15人(全社/70人)

3 食料品製造業

株式会社 平田屋

〒411-0042 静岡県三島市平成台7番地
TEL / 055-988-7000 FAX / 055-988-7010
URL http://www.hirataya.jp

- ひとくち羊かん ●ムーンフロマージュ ●薄皮まんじゅう ●チーズケーキ
- 焼菓子 ●餅菓子 ●洋菓子各種 ●バームクーヘン ●冷凍ケーキ



おいしさは、心。創業92年の私たちは、伝統と
自然・地域の恵みを活かし、多くの方に親しんで
いただける和菓子・洋菓子づくりに取り組みます。

資本金 1,000万円
設立年月日 昭和24年4月20日
代表者 代表取締役社長 小久保淳
従業員 126人

4 食料品製造業

明治食品工業株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台10番地
TEL / 055-988-5500 FAX / 055-980-5585

- 各種羊かん ●まんじゅう ●ゼリー菓子



県内、伊豆、箱根、富士五湖、富士山五合目など
を中心営業活動。県外へは各地域の菓子問屋への
製造卸しを北海道より九州にまで活動しています。

資本金 1,000万円
設立年月日 昭和26年1月22日
代表者 代表取締役社長 長谷川ひかる
従業員 14人

5 食料品製造業

マックスバリュ東海株式会社 デリカ三島

〒411-0042 静岡県三島市平成台40番地1
TEL / 055-980-6410 FAX / 055-980-6411

- ポテトサラダ ●三島コロッケ ●カニ風味サラダ
- おはぎ ●牛乳寒天



「何よりもお客様の利益を優先しよう」という
企業理念のもと、食料品を中心とした
スーパーマーケットの運営をしております。

資本金 22億6,785万円
設立年月日 1948年6月3日
代表者 代表取締役社長 神尾啓治
従業員 11,303人



6 機器工事業(電気工事業)

近和電業株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台8番地
TEL / 055-986-5211 (代) FAX / 055-980-0077
URL <http://kinwa.jp>

●高層ビル、マンション、工場等の電気設備の設計から施工



ビル、工場、マンションその他の電気工事を設計から施工、管理等一貫で行なっています。技術力、機動力では、大規模現場でも、充分対応可能です。

資本金 4,000万円
設立年月日 昭和40年4月16日
代表者 代表取締役社長 今瀬誠
従業員 30人

7 8 精密機械器具製造業

エミック株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台11番地
TEL / 055-988-8411 FAX / 055-988-8400
URL <http://www.emic-net.co.jp>



あすの科学技術の発展を見据え、より進歩した試験・計測器を提供し、社会の発展に貢献していきたいと考えています。

資本金 9,080万円
設立年月日 昭和46年7月1日
代表者 代表取締役社長 大野誠司
従業員 73人 (全社/133人)

12 13 金属製品製造業

株式会社ユニオン・マエダ

〒411-0042 静岡県三島市平成台30番地 (第2工場) 平成台48番地
TEL / 055-988-8864 FAX / 055-988-8867
E-mail info@union-md.co.jp URL <http://www.union-md.co.jp>

●Vベルト伝導用鋼板製Vブーリー、テンション・ローラーの製造販売
●電機・農機・建機・輸送機等向けのプレス・板金・切削等の複合加工を要する金属製部品の製造及び金型・治工具の製作



試作から量産までの一貫生産体制を有しております。ISOを認証取得済み。
QCDに優れたご提案をさせて頂きます。

資本金 2,250万円
設立年月日 昭和30年8月4日
代表者 代表取締役社長 野田弘之
従業員 37人

9 10 11 27 金属製品製造業

東海金属工業株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台14番地 (第2工場) 平成台42番地
(三島工場) TEL / 055-988-4886 FAX / 055-988-4886
(第2工場) TEL / 055-980-5135 FAX / 055-980-5136
URL <http://www.tokai-mme.co.jp>

●ダッジインサート ●ビットインサート ●各種インサート ●切削加工品
●インサート取り付け装置 ●自動車用ドア、シート、レギュレーター部品の製造
●セルフピアシングリベット取り付け装置の製造販売



ユーザー様に適切なアドバイスをし、あらゆるニーズに応えるべく独自の研究を進めています。

資本金 2,000万円
設立年月日 昭和36年9月4日
代表者 代表取締役社長 関本芳英
従業員 144人 (全社160人)

15 16 電気機械器具製造業

昭立電気工業株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台50番地
TEL / 055-988-8811(代) FAX / 055-988-8813
E-mail info@shoritsudenki.co.jp URL <http://www.shoritsudenki.co.jp>

●医療機器 ●コンピュータ機器 ●産業機器 ●警備機器 ●電子レジスター
●複写機 ●電子マッサージャー等のプリント基板の実装組立



高密度表面実装を高信頼性のマウント機械を駆使し、信頼性の高いプリント基板の設計及びアートワークから部品調達、組立の一貫生産が可能です。

資本金 5,000万円
設立年月日 昭和33年7月22日
代表者 代表取締役社長 中島浩介
従業員 86人 (全社/95人)

17 一般機械器具製造業

有限会社山田製作所

〒411-0042 静岡県三島市平成台 15 番地
TEL / 055-986-1846 FAX / 055-987-2365
E-mail ymd-ss@utopia.ocn.ne.jp

- 自動車部品等の切削加工
- 弱電用小型モータカバー等電装部品加工



様々な変化に柔軟に対応出来る経営体质の確立、企業体质の強化を図り、常に品質、技術の向上、設備の強化に努めております。

資本金 600万円
設立年月日 昭和39年4月6日
代表者 代表取締役社長 山田 信隆
従業員 5人

19 一般機械器具製造業

有限会社田中工画

〒411-0042 静岡県三島市平成台 18 番地
TEL / 055-988-5421 FAX / 055-988-6115
E-mail tnkkogaku@rhythm.ocn.ne.jp

- アルミダキャスト成形された自動車部品等の切削加工専門
- 加工後の耐圧検査、部品圧入、オイルシール組込み等の軽度な組立て作業



薄物、異形物等の加工が得意です。自社で治具の設計、制作をしており最適工法を企画し試作から量産まで最短で対応致します。

資本金 700万円
設立年月日 昭和29年9月1日
代表者 代表取締役社長 田中 契斗
従業員 12人

21 一般機械器具製造業

新興和産業株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台 43 番地
TEL / 055-989-1133 FAX / 055-989-1137 / 055-989-1132
URL http://www.shin-kowa.co.jp

- 剪定枝破碎機
- グリーンシュレッダー
- 汎用裁断機
- 飼料用裁断機
- アルミ材仕様各種製品



環境、農業関連の省力化に応え独創的な製品の開発から製造・販売まで一貫して対応致します。

資本金 4,000万円
設立年月日 昭和31年12月15日
代表者 代表取締役社長 田中 庸介
従業員 20人

23 一般機械器具製造業

神芝エンジニアリング株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台 46 番地
TEL / 055-986-8288 FAX / 055-987-2044
E-mail info@kamishiba.co.jp URL http://www.kamishiba.co.jp

- ロール研削盤の設計
- 製作および既設機の改造
- メンテナンス業務



創立からの業務と共に、現在は各種研削盤の設計、製作、NC機への改善等を行っています。

資本金 1,000万円
設立年月日 昭和45年8月3日
代表者 代表取締役社長 神崎 隆夫
従業員 10人

18 一般機械器具製造業

有限会社水谷製作所

〒411-0042 静岡県三島市平成台 17 番地 1
TEL / 055-988-8500 FAX / 055-988-8502

- 包装機械部品
- 建設機械制動パーツ
- OEM 製品の加工組立
- 医療・体育装置・電子機器・プレス金型
- 鋳造金型



「得意先から納得して頂ける部品」をモットーに顧客のニーズに沿って鋭意努力を致しております。

資本金 300万円
設立年月日 昭和35年4月7日
代表者 代表取締役社長 水谷 信之
従業員 14人

20 一般機械器具製造業

ドーワテック株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台 21 番地
TEL / 055-988-8281 FAX / 055-988-8285
E-mail mishima@dohwatech.co.jp URL http://www.dohwatech.co.jp

- 連続式急速冷凍装置（ステンレスベルトフリーザー他）
- 果実熟成加工装置（シートレス差圧式バナナ追熟加工設備他）



食品の広い分野にわたり、冷凍食品の生産プラントをユーザーのニーズに合わせて、設計、製造、施工しております。

資本金 4,000万円
設立年月日 昭和43年2月2日
代表者 代表取締役社長 鈴木 基良
従業員 24人

22 一般機械器具製造業

大陽工業株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台 44 番地
TEL / 055-989-1511 FAX / 055-989-1516
URL http://www.maruchu-digital.co.jp

- プリント配線基板
- 打抜金型
- 樹脂シート打抜金型
- 樹脂シート三次元絞り金型



技術開発の多角化を目指し 顧客のニーズを至上命令と考え、サービスによる付加価値の増大を計ります。

資本金 7,500万円
設立年月日 昭和48年7月7日
代表者 代表取締役社長 大川 博幸
従業員 23人 (全社26人)

24 一般機械器具製造業

株式会社三光製作所

〒411-0042 静岡県三島市平成台 47 番地
TEL / 055-987-7511 FAX / 055-987-7521
E-mail mano_m@sankoh-ss.co.jp URL http://www.sankoh-ss.co.jp

- プレス抜型用刃工具
- プレス嵌入金型



40年余のプレス金型製造メーカーとしてのノウハウを集結し、高品質、低コスト、短納期の課題に真向から取組んでいます。

資本金 1,000万円
設立年月日 昭和43年11月1日
代表者 代表取締役社長 遠藤 保弘
従業員 15人 (全社29人)

25 印刷・同関連業

東洋印刷株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台16番地
TEL / 055-988-8000(代) FAX / 055-988-8008
E-mail info@toyo-printing.com URL http://www.toyo-printing.com

- カタログ、チラシ、リーフレット、ポスター、DM等 各種印刷物
- Webサイト制作 ●各種イベントの企画・運営 等



印刷業にとどまらず、幅広い分野であらゆるニーズに応えるワンストップサービスを展開しております。

資本金 1,000万円
設立年月日 昭和33年4月7日
代表者 代表取締役社長 勝間田信輔
従業員 128人

26 印刷・同関連業

ナポー株式会社

〒411-0042 静岡県三島市平成台39番地
TEL / 055-989-9999(代) FAX / 055-980-6688
E-mail eigyou@napo.co.jp URL http://www.napo.co.jp

- パンフレット ●チラシ 等 各種印刷物



最新の印刷技術で高品質のパンフレット、チラシ等の印刷品を迅速に提供します。

資本金 1,000万円
設立年月日 昭和5年3月1日
代表者 代表取締役社長 中山卓之
従業員 20人

14 プラスチック製品製造業

株式会社川口化成

〒411-0042 静岡県三島市平成台49番地
TEL / 055-943-7500

- プラスチック成形及び仕上げ、加工、組立



10台の成形機を保有し、小容量クラスのボトル製品から20Lクラスの成形品まで幅広く製造を行っています。

資本金 4,500万円
設立年月日 1968年1月
代表者 代表取締役 山田けい子
従業員 70人

28 プラスチック製品製造業

株式会社シンカムコーポレーション

〒411-0042 静岡県三島市平成台32番地
TEL / 055-988-3388 FAX / 055-988-3369
E-mail qqyc5rt9n@world.ocn.ne.jp

- 溶接棒 及び、階段ステップ



当社はプラスチック製品製造業として創業。現在は、創業当時の高度の技術を生かし溶接棒製造業に特化しております。

資本金 1,000万円
設立年月日 平成26年3月31日
代表者 代表取締役社長 清水孝悦
従業員 3人

29 車体専門工事業(建設業)

株式会社神田工務店

〒411-0042 静岡県三島市平成台37番地
TEL / 055-988-8200 FAX / 055-988-8205 / 055-988-8151
機材センター(同上団地内) TEL / 055-988-8112
E-mail k-kanda-k@popo2.odn.ne.jp

- 建設車体 ●土木車体 ●建築一式工事



建築車体業界では50年の施工キャリアを誇り、県下では業界の第一人者であると自認しています。近年はこのノウハウを生かした建築一式工事も手掛け始めています。

資本金 1,000万円
設立年月日 昭和36年1月12日
代表者 代表取締役 片岡淳志
従業員 14人(同地内)

紙加工品製造業

第一段ボール株式会社

〒411-0832 静岡県三島市南二日町28-58
TEL / 055-975-5385

- 段ボールケース ●付属部品加工



当社は、国際規格 ISO9001 / ISO14001を認証取得し、品質、環境経営を積極的に推進。"明るく元気にさわやかに"をモットーとして活力ある企業を目指し、更なる発展に邁進しています。

資本金 4,000万円
設立年月日 昭和32年8月24日
代表者 代表取締役社長 石井彰
従業員 54人



製品・設備 紹介



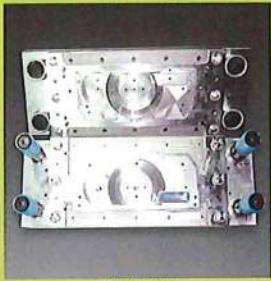
有限会社田中工画



ドーワテック株式会社



新興和産業株式会社



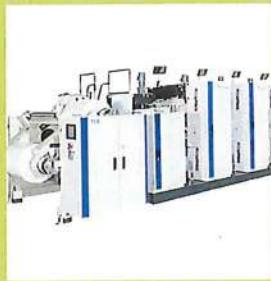
大陽工業 株式会社



神芝エンジニアリング株式会社



株式会社三光製作所



東洋印刷株式会社



ナボ一株式会社



案内看板



株式会社シンカムコーポレーション



株式会社神田工務店



第一段ボール株式会社



共同受電設備





製品・設備 紹介



カメヤ食品株式会社



株式会社伊豆フェルメンテ



株式会社平田屋



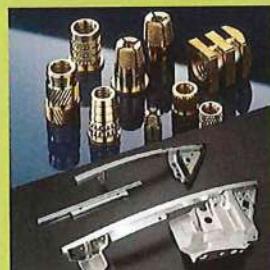
明治食品工業株式会社



近和電業株式会社



エミック株式会社



東海金属工業株式会社



株式会社ユニオン・マエダ



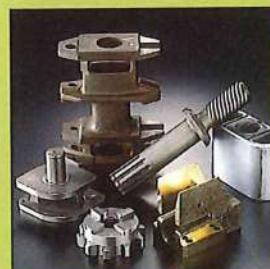
株式会社川口化成



昭立電気工業株式会社



有限会社山田製作所



有限会社水谷製作所



組合員企業一覧 及び 案内図



食料品製造業

- 1 カメヤ食品株式会社
- 2 株式会社伊豆フェルメンテ
- 3 株式会社平田屋
- 4 明治食品工業株式会社
- 5 マックスバリュ東海(株)デリカ三島

設備工事業(電気工事業)

- 6 近和電業株式会社

精密機械器具製造業

- 7 エミック株式会社
- 8 エミック株式会社受託試験センター

金属製品製造業

- 9 東海金属工業株式会社第3工場
- 10 東海金属工業株式会社三島工場
- 11 東海金属工業株式会社第2工場
- 12 株式会社ユニオン・マエダ
- 13 株式会社ユニオン・マエダ第2工場
- 27 東海金属工業株式会社第4工場

電気機械器具製造業

- 15 昭立電気工業株式会社第2工場
- 16 昭立電気工業株式会社三島工場

一般機械器具製造業

- 17 有限会社山田製作所
- 18 有限会社水谷製作所
- 19 有限会社田中工画
- 20 ドーワテック株式会社
- 21 新興和産業株式会社
- 22 大陽工業株式会社
- 23 神芝エンジニアリング株式会社
- 24 株式会社三光製作所

印刷・同関連業

- 25 東洋印刷株式会社
- 26 ナポー株式会社

プラスチック製品製造業

- 14 株式会社川口化成
- 28 株式会社シンカムコーポレーション

軸体専門工事業(建設業)

- 29 株式会社神田工務店

紙加工品製造業

- 第一段ボール株式会社